

今回はさまざまな分野の先生をお呼びしたことで、いつもは触れることの少ないトピックもじっくり聴く機会となり、気象学における知見を一層広める手助けになったのではないかと思います。

まだ研究テーマの決まっていない修士課程の学生が大多数であった為か、講演発表者は例年に比べかなり少なくなりましたが、むしろこの注目が集まる機会を逃さず熱心に自分の研究をアピールする発表者にあふれ、参加者はどの発表も余すところ無く聴くことが出来て、口頭発表、ポスター発表共に密度の高い議論が繰り広げられていたと思います。

また、参加者同士の交流を深めるイベントとして、研究室紹介や立食パーティーなどを実施しました。初日の懇親会では研究室紹介とクイズ大会を行い、研究室の雰囲気を紹介する映像を放映したり研究室を題材

にした漫才を行うなど個性的な紹介が続き、参加者同士がお互いを知る良い機会となりました。二日目の懇親会では、参加者の投票によるベストポスター賞の表彰および近藤純正先生によるスライドショー「雪と水の美」上映会を行いました。終始和やかな雰囲気の中、参加者同士の交流を深められた事と思います。

2005年の日本気象学会夏期特別セミナーは、筑波大学へと引き継ぐことになりました。今後とも、参加者と運営側の双方にとって有意義な夏の学校が開催され続けますことを願っております。最後に、夏の学校の運営に御協力頂いた皆様、このような企画の機会を与えて下さった日本気象学会関係者および開催に際して援助を頂きました日本気象学会講演企画委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。

2005年度総会について

常任理事会

前回の2004年度総会で定款が一部改定され、会員種別の在り方が変わりました。すなわち、個人の会員は、通常会員と特別会員に分け、前者は法人の社員として総会における議決権や役員の選挙権の権利と義務を有しますが、後者はそれらを有しません。ただし、個人の各会員は、自分の選択に基づき通常会員か特別会員かのいずれの会員になるか自由意思で選択でき、年度の変わり目等にはその種別変更も可能です。現時点では、約800名が通常会員を、約3000名が特別会員を選択しています。

このような新しい会員制度の下での最初の総会が次回2005年度総会ということになります。従いまして、通常会員である会員には、総会での議決権を行使して頂くこととなりますので、「天気4月号」に掲載されます総会資料を慎重にご検討の上、総会に参加してご意見など頂ければ幸いです。

具体的には、天気4月号の送付に合わせて通常会員

に別途「総会参加票」をお送りします。通常会員は、全員、総会への欠欠に関係なく各議題に対する意思の表明または欠席する場合の被委任者を、「総会参加票」により学会事務局に提出願います。なお、総会に出席した場合は総会における意思表示が優先されます。この点、何卒、通常会員の方々には、ご協力をお願い申し上げます。

特別会員は、議決権の行使ということでは、総会に参加する義務はありません。そういう事情で、総会参加票ハガキの郵送は致しませんが、学会の在り方には常に関心をもって頂きたいということから、総会会場に出席し、審議の過程を見て頂くことは大いに歓迎致します。

以上、次回の総会を開催するにあたって、変更点など簡略ですがご案内申し上げます。重ねてご理解とご協力をお願い申し上げます。